

佐保ひろば

佐保地域広報紙 第15号

2021年6月30日発行
佐保地域自治協議会
佐保地区自治連合会
<http://www.saho-jichikyo.org>

自治協議会、組織を刷新 佐保まつりなど諸行事中止

佐保地域自治協議会、佐保地区自治連合会、佐保地区自主防災防犯協議会は新型コロナウイルス感染が依然続いているため、令和3年度も通常総会を中止し、代替総会や書面評決で事業計画、予算案などを議決、自治協議会は組織を刷新しました。また令和3年度の佐保まつりの中止を決定しました。地区内の諸行事も見送りとなりました。

佐保地域自治協議会 5部会事業計画決定 規約・組織を改定

事業計画○生活環境(美化の日設定)○町づくり(災害の無い町づくり)○文化教育(知識習得イベント)○安心安全(見守り活動充実)○健康福祉(脳活性化教室など)

佐保地域自治協議会(中島佳彦会長)は6月12日、佐保ふれあい会館で令和3年度総会を役員会による代替総会として開催、代議員には事前に書面評決書を送付しました。事業報告、決算報告、今年度予算、5部会事業計画を原案通り承認するとともに、規約と組織の改正を議決しました。規約改正の趣旨は、役員会、理事会の役割を明確化、事務局を役員会直属機関に変更し、活動の強化を図ることにしました。(2面に規約改正のポイント、規約全文と組織図は佐保自治協議会ホームページに掲示)

佐保地区自治連合会 自治会活動活性化へ 交流・研修会を計画

佐保地区自治連合会(中島佳彦会長)

●中止の行事○6月の防災訓練○佐保川さくら祭り○佐保川清掃

彦会長)は5月28日に佐保ふれあい会館で役員会による代替総会を開き、事業報告、決算、事業計画、今年度予算を議決しました。新型コロナ禍で活動が制約される中、自治会の活動活性化に向け秋にもブロック長との意見交換や自治会長研修会の開催が盛り込まれました。議決書は全自治会長に送付されました。また、中川英幸副会長が退任、新役員に五十嵐創一氏(前北市新道町自治会長)が選任されました。

自主防災防犯協議会 避難所開設訓練予定 防犯地域パトを強化

佐保地区自主防災防犯協議会(豊田基城会長)は令和3年度総会を中止、書面議決で行い、事業報告、決算、避難所開設訓練実施や地域パトロールの促進が盛り込まれた事業計画、予算、規約・組織一部改正などが承認されました。6月に予定されていた避難所開設訓練は新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。(2面に役員表掲載)

佐保地域自治協議会役員表

役職	氏名
会長	中島 佳彦
副会長	大島 國裕
副会長	川淵 眞澄
会計	中村 龍也
会計	藤岡 脩
監事	山本 靖弘
監事	榎 康二
常任理事	
事務局長	岡崎 忠直
常任理事	
広報編集長	高松 義直
常任理事	
常任理事	八木 富蔵
常任理事	東 美幸
常任理事	安田 留美子
常任理事	
事務局長補佐	浅川 清仁
常任理事	横田 好弘
常任理事	出原 和美

佐保地区自治連合会役員表

役職	氏名
会長	中島 佳彦
副会長	岡崎 忠直
事務局長	
副会長	高松 義直
事務局長補佐	
会計	福井 俊晴
監事	平松 文男
監事	佐埜 清
常任委員	辻中 二三夫
常任委員	川本 慶一
常任委員	中村 龍也
常任委員	藤岡 脩
常任委員	豊田 基城
常任委員	
事務局長補佐	渡部 文雄
常任委員	五十嵐 創一
顧問	田中 捻積
役員待遇 アドバイザー	浅川 清仁

佐保地域自治協議会規約 改定のポイント

<改定の趣旨>

●組織の役割明確化 ●審議過程効率化 ●手続き簡素化

◎役員会の役割を規定する章を新設

・会議体構成に「役員会を明記(第4章11条)、役員会を「運営に関する事項、総会に諮るべき事項の審議決定機関」とした。(第6章23条)・役員会には部会長理事(5名)を加え、理事会との連携を維持。各部会活動の報告も兼ねる。(24条)

◎理事会の改定(第7章)

・事業計画の策定、審議機関としての役割を明確化。理事会の議長は理事の中から選任することとし、理事会の自主的活動の促進を図る。・理事会への役員参加を削除。(26条・27条)

◎部会の改定(第8章)

・理事会を理事による会議としたため、部会長会は重複を避け削除。

◎事務局の改定(第9章)

・事務局長の選任は理事会から役員会に変更。事務局運営に関する事項は役員会で決定する。・事務局は会長及び役員会の機関として各会議体に参画し、連絡調整機能を強化することとした。(36条)

◎総会の改定(第5章)

・総会議長は役員からも選任できるように「出席者から」とする。(18条)・事務の簡素化のため押印を廃止。(22条)

◎規約改定要件の改定(第11章)

・規約改定の要件規定を総会出席代議員の「4分の3」から「3分の2」に変更。(41条)

自主防災防犯協議会役員表

役職	氏名
会長	豊田 基城
副会長 事務局長	川淵 眞澄
副会長 災害対策部長	岩井 信孝
副会長 防災訓練対策部長	川本 慶一
会計	神殿 義一
監事	楨 康二
防災防犯巡視部長	浅野 雄三
交通安全対策部長	齋藤 幸治

佐保地区自治活動抄録

▽4月/19日=佐保ふれあい会館利用のオンライン予約システム説明会▽23日=自治連合会役員会で令和3年度総会は新型コロナウイルス感染防止のため昨年に続き役員会による代替総会とすることを決定▽25日=自治協議会役員会で令和3年度総会を代替総会とすることと佐保まつり中止決定▽5月/15日=自主防災防犯協議会が令和3年度総会の中止と書面決議を決定▽17日=自治協議会令和2年度事業報告を市役所に提出▽28日=自治連合会代替総会▽6月/1日=佐保ふれあい会館オンライン予約受付開始▽12日=自治協議会代替総会▽月末=広報紙「佐保ひろば15号」発行

内侍原町古文書 市指定文化財に

奈良市内侍原町に伝わる町の記録「内侍原町諸事記録控書」が今年3月に奈良市指定文化財に指定されました。江戸時代中期の天明7年(1787年)から慶応4年(1868年)にかけて公儀の布令や町内の行政的な手続き、事件等が記録されており、記事は145件。内侍原町の町役人が書き継いだものと考えられています。

事件等の顛末・覚書では、会

自治や諸行事 桜田門外の変など 町役人が記録

所の寄合参加条件や年中行事、死鹿対応、捨子教育、訴訟の顛末など町内の自治や諸行事に関する記事があり、元興寺五重塔・

本堂の消失、異国人の奈良通行、米屋の打ちこわしなど注目すべき記事もあります。風聞・見聞では大塩平八郎の乱や桜田門外の変など幕末の世相もうかがえます。

近世の奈良の各町は、奈良奉行所の町方支配のための行政組織の末端に位置付けられ、多くの町で記録が作成されましたが、現在確認できるものは、内侍原町の他に、東向北町、井上町など数町に限られています。

(問合せ先：奈良市文化財課)

佐保 まち探 3

第4ブロック 397世帯

高天市東町 高天市西町
阪新家町 菖蒲池町 奥芝町
芝辻北町 芝辻中町
芝辻プラス町 油阪北町



称名寺の山門

清楚な佇まい 茶道の寺

船橋通り商店街の東西に広がる一帯が第4、第5ブロック。約800世帯が居住しています。旧二条大路を東に行くと、侘び茶の祖、村田珠光ゆかりの称名寺が清楚な佇まいを見せています。鎌倉時代に現在の奈良女子大学の南に興福寺の別院として建立され、江戸初期に現在地に

守り継ぐ 歴史の顔

移転。境内には松永久秀の多門城石垣に使われた地蔵が廃城後に多数移され、千体地蔵尊として安置されています、近隣5町の地蔵も立ち並び、7月23日には地蔵尊が行われています。

村田珠光(室町時代中期)は幼少の頃、ここで過ごした後、京都大徳寺で一休禅師に師事、茶道の礼式を興しました。珠光が設けた四畳半の茶席「独廬庵」は2度焼失しましたが、江戸期

第5ブロック 416世帯

北市東町 北市中町
北市南町 北市新道町
西新在家町 船橋町 船橋西町

に再建されました。。珠光忌の5月15日には茶席が開かれています。床の間に「妙言無古今」の掛け軸。伊藤尚瑞住職は「権勢の創造物は盛衰の波で消えたりするが、信仰に支えられた寺社は今に残っている。気負いな



珠光の茶室「独廬庵」(称名寺提供)



村田珠光(称名寺提供)



北市座恵比須神社

く守り継いでいだけですが」と創建750年の日々の務めを淡々と語っていました。

厄除け発祥の勅願時

やすらぎの路沿いには厄除け発祥の寺院、慈眼寺があります。聖武天皇の勅願寺で、古来より多くの方が厄除け参りに訪れています。樹齢400年の天然記念物の柿の木は市指定文化財となっています。

街活性へ新たな芽

ここから西方の町中に鎌倉初期創建の北市座恵比須神社が鎮座しています。餅版殿の南市の1月の五日戎に続き、十日戎が行われ、漢国神社宮司が祭事を務めています。

どこか懐かしい商店街

南北800メートルの船橋通り商店街は9つの奈良中心市街地商店街の一つ。かつては多くの



落ち着いた雲囲気の船橋通り

商店が軒を並べ、人通りも多く、夏の縁日では夜店も出店されるなど賑わっていましたが、次第に町の勢いは失われていきました。街の再生が動き出したのは、約10年前にLED街灯がつき、道路も整備された頃から。同商店街協同組合(横田好弘理事長)が7月には近隣一体で「打ち水作戦」を行うなど活性化策を始め、絹谷幸二画伯が通ったというアイボリー画材店の周辺にも「POOL」「月舟町」といった新しい店舗が近年増えてきました。横田理事長は「どこか懐かしい他にはない商店街を目指すリーダー的存在でありたい」と明日の姿に思いを馳せています。

旧奈良商業高校跡地に建つ奈良県立大学は地域活性化を研究実践する地域創造学部を設けています。「佐保まつり」には学生さんが参画、地域と交流の輪を広げています。古い歴史と街と大学がコラボする町。新しい芽が生まれつつあります。

温かい眼差しを支えに

この度の異動で、右京小学校より佐保小学校校長として着任致しました、榎 康二と申します。どうぞよろしく願いいたします。若い頃の4年間、若草中学校で勤務した経験があり、3月末に青木前校長とご挨拶に回らせていただいた際は、校区の風景にとっても懐かしい思いが致しました。本校とのご縁を感じた瞬間でした。

例年であれば、入学式を始めとした学校行事や学習活動、あるいは地域の行事等で、子どもたちが地域の皆様と直接ふれ合



う機会も多かったことと思います。しかし昨年度以来、このような機会がかなり限定的なものとなり、今後も感染状況を見ながら判断せざるを得ない状況にあります。地域の皆様との交流を楽しみにしていただけに、大

変残念でなりません。

ただ、登下校時の見守りや日々のお声かけなど、日常的な繋がりや温かい眼差しが「佐保に生きる」子どもたちの大きな支えになっていることは間違いありません。このような状況だからこそ、地域の皆様との強い絆を大切にしながら、新たな形で交流の在り方を模索していきたいと考えます。

私達教職員も子どもたちへのより良い教育活動の実践を目指し、日々努力して参ります。地域の皆様におかれましては今後ともご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

卒業生から感謝のメダル74個

青木佐保小校長が退職

佐保小学校の青木一和校長先生が令和3年3月末で退職され、卒業する6年生74人から大きなプレゼントがありました。2年間の在職中には、佐保地域自治協議会の設立に監事として参画、佐保まつりにも協力をいただき、多くの思い出を残されました。退任を前にしたある日、自治協議会役員が校長室を訪れると、壁いっぱい卒業生からの74個の感謝のメダルが飾ってありました。卒業式では「児

卒業証書を手にする青木校長。壁には卒業生からの74個の感謝のメダルが輝いていた。



童への将来の夢と希望の礎を育む方法を指導されました」と記した青木校長への卒業証書も授与されました。

佐保小、教育大附中前道路で交通安全改善点チェック

佐保地区の通学路交通安全点検が6月2日に佐保小学校、同校PTA、自治連合会、奈良市教育総務課、奈良警察署、教育大附属中学校立ち合いのもと、小学校東南の三叉路と教育大附属中前道路で実施されました。佐保小東南には横断路を表示、教育大附中前道路は奈良山住宅地先から狭岡神社までを補修後にグリーン塗装することになりました。他の改善要望6か所は横断歩道の塗り直しで対処することになっています

1～3歳児対象に子育てひろば開設 佐保幼稚園

奈良市立佐保幼稚園は1～3歳児を対象にした「子育てひろば さほ」を6月から開設しました。幼稚園では友達と一緒に遊んだり、保護者同士が交流したり、子育てについて地域の人

や幼稚園職員に気軽に相談できる場になりたいと思っています。

3歳児(平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれ)は「うさぎ組」で、月2回。1～2歳児(平成30年4月2日以降生まれ)は「ひよこ組」で月1回。9時15分～30分の随時受付で、朝9時30分から11時まで行います。参加費は

年間でウサギ組は1000円、ひよこ組は600円です。

詳細は幼稚園ホームページまたは幼稚園(☎22-7078)に問い合わせてください。

なお、在園対象者の一次預かりも実施。月曜～金曜の14時から17時まで300円、また春・夏・冬の長期休業中は9時から17時まで300円です。